

島倉山（しまくらやま）

標高 87.4m 三等三角点
2万5千分1地形図〔磐城泉〕
いわき市（小名浜）

特 徴

県道 20 号線（旧国道 6 号）を平から勿来に向かって行き、下船尾交差点で小名浜方面を分けると前方左側に見えてくる小高い丘がいわき市小名浜島にある低山・島倉山です。

島倉山は南北朝期に岩城氏の一族であった岩崎氏の城館があった所で、その痕跡を見ることができる。岩崎氏はかなりの勢力を誇っていたらしいが、有力な家臣は主君にとって脅威ともなりかねない。そうしたこともあって、岩崎氏は応永 17 年（1410）に岩城隆綱に攻撃され、滅ぼされてしまったという。

藤原川沿いの沖積平野に半島状に突出した 87.4m の丘陵であり、東麓の海拔 5m 前後には海蝕崖がありそこには小さな蟹が住んでいた穴などがあって縄文時代の旧海岸線を示している。

この山の周辺に「館」「館下」「堀ノ内」という地名があり地名からもこの山が城館であったことが確認できる。



コース案内



【南西登山口】

タウンズヴィルニュータウン入口のコンビニのある信号機の交差点を東側に入って行き赤い鳥居の所。私有地なので隣の家に断ってから登った方が良い。鳥居の手前にはかつて金が掘られたという横穴が残っている。

岩を削った斜めの階段のいきなりの急

登で、滑り落ちそうになりながらトラロープに掴まって登る。尾根に出るとツツジの植栽もあり、かつては大切にされ多くの人々が訪れたであろうと思われる。館跡には牛頭天王の石碑と祠がある。30 分。



【南登山口】

前記登山口の 2 軒手前の民家から登り曲輪跡に出る。20 分。

【北登山口】



金寿院の薬師堂から脇からかつて参道であったと思われる整備された路を登ると、三等三角点と祠がある。40 分。

チョット南西側に下がり曲輪跡と牛頭天王社まで行くと良い。

交通：JR 常磐線湯本駅、いずみ駅

マイカー：金寿院か極楽の湯の駐車場をお借りする。

アドバイス：館の西端には県道 20 号線（旧国道 6 号）が通り、改変が著しいが馬場であった。その西隣の丘陵中ノ内にかけても曲輪群があり、この城の延長と考えられている。



（文責 秋葉）



酒のいしかわ

金寿院

社

信号 $\Delta 87$

牛頭天王社

泉山本谷
曲輪跡

鳥居
横

信号

極楽の湯 $\Delta 82$

藤原川